

# 留 学 報 告 書

記入日：2016年2月2日

留学先国	大韓民国
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) 成均館大学 芸術学部 映像学科 (英) Department of Film, TV, & Multimedia School of Art Sungkyunkwan University
留学期間	2015年8月～2016年1月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2016年1月30日
明治大学卒業予定年月	2017年3月

留学費用項目	現地通貨(ウォン)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	180,000	180,000円	
食費	150,000	150,000円	
図書費	100,000	10,000円	
学用品費	20,000	2,000円	
教養娯楽費	100,000	10,000円	
被服費	400,000	40,000円	
医療費	0	0円	
保険費	500,000	50,000円	
渡航旅費	1300,000	130,000円	
雑費	500,000	50,000円	
その他( )		円	
その他( )		円	
その他( )		円	
合計	6220,000ウォン	622,000円	

## 渡航関連

渡航経路	往路：東京(羽田)ーソウル(金浦) 復路：ソウル(金浦)ー東京(羽田)
渡航費用	チケットの種類 片道国際航空券 往路 ¥100,000 復路 ¥30,000 合計 ¥130,000
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
ANA 公式サイト (www.ana.co.jp)	

### 滞在形態関連

種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
孝試院	
部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数：     ）
住居を探した方法	
留学前に韓国を訪れる機会があったため、事前に韓国人の友人に良さそうな滞在先を教えてもらい、韓国を訪れた際に実際に部屋を見て決めました。滞在中に1度、より良い条件の孝試院に引っ越しをしました。その際は語学院の友人の紹介を受けました。	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
ソウルは家賃が高いため、留学生は大学の学生寮、孝試院またはワンルームで友人と共同生活をしていました。成均館大学には学生寮がいくつかありますが、大学から離れた寮もあり、入室希望した場合ランダムで振り分けられます。そのため私の場合は、大学に近く、簡単な食事を提供してくれる孝試院に滞在することに決めました。	

### 現地情報

現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input type="checkbox"/> 利用した；
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。
同じ孝試院に滞在する留学生の友人に相談していました。また成均館大学には留学生の窓口があり、いつも対応してくださる責任者の方がいらっしゃったため、学内のことで何か問題や分からないことがあった際にはよくお世話になりました。
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
滞在前に外務省の在留届電子届出システムに登録しました。こちらに登録すると、在韓日本大使館からの在韓邦人へ向けてのお知らせや注意喚起のメールが送られてくるため、危機情報の収集にとっても便利でした。犯罪に巻き込まれることはありませんでした。
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？ 例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは、WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。
ソウルはWIFI環境が良いため、基本的にインターネットに繋がらなくて困るということはありませんでした。大学にもパソコンは完備してあります。携帯電話については、私の場合は現地で中古の携帯を購入し、韓国の電話番号を取得して使いました。
現地で資金調達はどのように行いましたか？ 例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録しないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。
現地で銀行口座を開設して、日本から持って来たお金をそこで管理していました。クレジットカードも併用していました。
現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
特にありません。

### 進路について

進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：

進路決定の際に参考にした資料，図書，期間など
就職を選択した方は，差し支えなければ内定先を教えてください。また，その企業を選んだ理由も教えてください。 (内定を得た企業すべての名前，あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
就職活動中・終了時に関わらず，就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。 例：留学中の就職活動へ向けた準備，帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い，留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
進学を選択した方は，差し支えなければ進学先を教えてください。
進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備，試験対策等）がありましたらお書きください。
その他を選択した方は，留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ、記入してください。
3単位（1科目）	<input type="checkbox"/> 単位（ 科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）
以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）	영화기획
履修した授業科目名（日本語）	映画企画
科目設置学部	演技芸術学科
履修期間	1学期間（9月から12月）
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教員	チョンウチョン教授
授業内容	映画1本の制作過程を学び、映画製作に関する基本的な事柄を学びました。また、失敗した映画をいくつか例にあげ、なぜその映画が失敗したのか、改善すべき点はどのような点かなどについて深く学びました。
試験・課題など	課題は指定された映画を観て授業に出席することでした。中間レポートと期末試験、出席で成績が決まります。中間レポートは、自分が企画したい映画についてのレポートでした。期末試験は授業で学習した内容の語句説明や論述でした。期末試験は辞書を持ち込めなかったため、苦労しました。
感想を自由記入	言語の問題で苦労することが多かったのですが、教授が親身になって話を聞いてくださり、とても前向きに勉強できたと思います。韓国の学生は積極的に授業に参加している点が印象的でした。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	성균어학원 3급
履修した授業科目名（日本語）	成均語学院3級
科目設置学部	成均語学院
履修期間	1学期間（8月から10月）
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に250分が5回
担当教員	ハミリョン先生
授業内容	韓国語中級1クラスでした。留学前に事前にテストを受け、級が決まりました。文法・会話・語彙と表現・読み書き・聞き取り・実用韓国語の6項目を学びます。3級では特に文法に重点を置き、会話や筆記の際に重要な文法を多く学習しました。

試験・課題など	中間試験と期末試験が1回ずつ行われます。課題は個人課題とグループ課題があり、それぞれ成績に大きく関わるため準備が必要でした。試験、課題、宿題、出席、授業態度などから成績が決まります。
感想を自由記入	語学の授業なので、分からないことや質問があればその場で先生質問しまして解決していました。クラス内には日本人がいなかったため、友人とは常に韓国語で会話をし、語学学習にはとてもよい環境でした。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	성균어학원 4 급
履修した授業科目名（日本語）	成均館語学院 4 級
科目設置学部	成均語学院
履修期間	1 学期間（10 月から 12 月）
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1 週間に 250 分が 5 回
担当教員	イグォンヒ先生
授業内容	韓国語中級 2 クラスでした。語学院 3 級を卒業したため、そのまま自動的に 4 級に上がりました。3 級と同じく文法・会話・語彙と表現・読み書き・聞き取り・実用韓国語の 6 項目を学びます。4 級では特に 3 級で学習した文法を元に、他の類似文法との比較に重点を置き、学習しました。
試験・課題など	試験や課題については 3 級と同じですが、課題の量や難易度が上がりました。グループ課題が増え、学内外での聞き取り調査などを行い発表したりしました。
感想を自由記入	4 級になり課題や発表が増え、常にその準備に追われていました。とても大変でしたが、全てやり終えた後には大きな達成感がありました。4 級では聞き取りの授業が学部の授業と重なってしまい、出席できなかったため、その点がとても残念でした。

## 留学に関するタイムチャート

2015年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学の決定</li> </ul>
4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学手続き、受講科目や滞在先の決定など留学に向けた情報収集</li> </ul>
8月～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出国（8月中旬）</li> <li>・入学オリエンテーションと授業開始（12月末まで1学期間、語学院は2学期間）</li> <li>・語学院の中間試験</li> </ul>
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部授業の中間レポートと期末試験</li> <li>・語学院の中間試験1回と期末試験2回</li> <li>・修了式</li> </ul>
2016年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交換留学生の冬季学習プログラム参加（1月）</li> <li>・帰国（1月下旬）</li> </ul>
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	以前から韓国留学を考えていましたが、いつの間にか進路のことも考えなくてはならない時期になり、なかなか留学の機会がありませんでした。しかし、新しく情報コミュニケーション学部から韓国へ派遣される交換留学制度ができたため、挑戦してみようと思いました。交換留学制度でしたので、留学先の大学で取得した単位を帰国後に学部申請できる点が魅力的でした。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学前にもう少し語学力を向上させることができたら良かったと思います。留学中は語学院で語学の授業を受けることができましたが、学部の授業で苦労しました。特に私の場合は専門用語を多く使用する授業を受講したため、レポート・試験などの際に特に大変でした。日常会話などは留学先に行ってから勉強すれば十分ですが、学問的な語学力を少しでも身に付けていたら良いと思いました。
この留学先を選んだ理由	実は自分の明治大学での専攻とは全く関係のない学部への派遣でした。そのために決定するまでにとっても悩みましたが、興味のある分野であったので挑戦することに決めました。また、大学はソウルの中心部にほど近く、特に周辺地域は有名な学生街でしたので、韓国の大学生の生活をより身近に感じられるのではと思い決定しました。
大学・学生の雰囲気	成均館大学は留学生がとても多かったです。しかし日本人の割合は少なく、多くの外国人留学生と付き合うことができます。韓国学生はとても勤勉で、学内外でいつも活発的に動いていました。伝統校ならではの外観と、校内の学生たちの活発さが大学の良い雰囲気をつっていると思います。
寮の雰囲気	私の場合は寮ではなく孝試院に滞在しました。孝試院では1人部屋でシャワー室とトイレのみ共同使用の部屋を選択し生活しました。部屋は狭いです。他の居住者と関わることはほとんどありませんが、私は仲の良い友人のほとんどが同じ孝試院で生活していたため、食事の際は一緒に食べたり、お互いの部屋を訪ねたりして過ごしていました。孝試院での生活は充実していてとても満足しています。
交友関係	1日における語学院の授業時間が長いために、語学院の同じクラスの友人と過ごす時間が多かったです。意思疎通は韓国語で行い、互いの言語を教え合ったりしながら仲良くなりました。授業が終わると一緒にご飯を食べたり、外に出かけることが多かったです。また、成均館大学には留学生のサポートをしてくれる韓国人学生の団体があり、何かある度にそのメンバーの方々がイベント企画をしてくれました。
学習内容・勉強について	私の専攻は映像学でしたが、語学院の授業時間と思うように上手く合わず、受講したい授業を組み合わせることが非常に難しかったです。学部の授業は韓国人学生についていくことに必死でした。その中で教授に質問したり、他の学生に手伝ってもらったりしながら勉強していきました。言語が上手く通じないことで落ち込むことはたくさんありました。しかしこれが留学中の醍醐味だと思い、楽観的に考えながら勉強したため、とても充実した学習ができたと思います。

<p>課題・試験について</p>	<p>語学院の授業では、学期毎1回ずつの中間・期末試験に加え、課題（グループ・個人）やちょっとした発表などがとても多かったです。学部の授業は中間レポートと期末試験という形式でした。試験期間になると図書館や大学付近のカフェは夜遅くまで満席で、大学内の雰囲気も変わります。そんな環境下で自分も良い刺激を受け、試験に向けて勉強する時間を設けることが出来ました。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>正直、日々の課題や発表の準備で精いっぱい、大学外の活動に参加できる時間はありませんでした。私自身も留学中唯一の心残りな点です。韓国は特に奉仕活動が盛んなため、参加できれば良かったと思います。</p>
<p>ある平日のスケジュール</p>	<p>8時：起床・朝食、9時～12時：授業、12時～13時：昼食、13時～15時：授業、15時～20時：友人と外出・夕食、20時～0時：自由時間・予習復習、0時：就寝</p>
<p>ある休日のスケジュール</p>	<p>11時：起床・朝食、12時～20時：昼食・友人と外出・夕食、20時～0時：自由時間・予習復習、0時：就寝</p>
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと</p>	<p>長いと思っても、時間は短く驚くほどあっという間に過ぎて行ってしまいます。他国ですから言語が通じないことで落ち込むことや上手くいなくて嫌になる時はたくさんありました。しかし常にプラス思考でいることが大切だと思います。韓国は助けを求めれば反応してくれる国でした。せっかくの機会ですから目標を持って積極的に活動し、多くの人と関わり、充実した留学生活を送られることを望みます。</p>